

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都双岡病院増築工事	階数	地下1階地上3F
建設地	京都市右京区常盤古御所町2番の一部 他17筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第一種低層住居専用地域	平均居住人員	112 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 0.0	評価の実施日	2019年9月12日
敷地面積	8,202.83 m ²	作成者	(株)ゆう建築設計 丸川
建築面積	1,737.85 m ²	確認日	2019年9月13日
延床面積	5,616.95 m ²	確認者	(株)ゆう建築設計 木下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 87% ③上記+②以外の 87% ④上記+ 87%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 利用者が通常快適に過ごせるように標準的な設備とする。</p>	<p>その他 建設リサイクル法に基づき分別解体と再資源化に努めるよう促す。</p>	
<p>Q1 室内環境 外壁・屋根に断熱材を施す。開口部はペアガラス採用。</p>	<p>Q2 サービス性能 高耐久性のある配管、ダクトを採用している。ハートビル法及び京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例の利用円滑化基準を満たす。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 山ろく型建造物修景地区、遠景デザイン保全区域の基準を満たす。周辺の街並みと調和した配色とする。</p>
<p>LR1 エネルギー 空調機など高効率の機器を採用。ペアガラス等で高断熱化を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水器具を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 設備機械エリアには防音壁を設置。設備機器には防振構造を施す。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される